

令和5年度 城東小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

(1) 基本目標

「人間尊重の教育」を基盤とし，自ら考え 正しく判断し 行動できる 豊かな心を持ち，知・徳・体の調和の取れた心身ともに健やかな，人間性豊かな児童を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- ・ こころ豊かで思いやりのある子 （やさしく）
- ・ よく考えすすんで学ぶ子 （かしこく）
- ・ 健康で明るくたくましい子 （たくましく）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

教育目標の具現化を図り，児童が豊かな心を持ち，充実した学校生活が送れるよう，教職員が一丸となって取り組む学校づくりをする

～「一人一人のよりよい未来のために，子供たちの今に，全力でかかわる『チーム城東』」～

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

教職員一人一人が主体性をもち，協力して取り組む学校組織を構築する。

- (1) 「和」を基盤とし，同僚性を発揮して互いに学び合い切磋琢磨するチーム城東の構築を目指す。
- (2) 児童の実態や地域の要望，感染症対策を含む社会の動向等を踏まえ，家庭・地域の教育力を生かした教育活動を通して「地域とともにある学校づくり」の推進に努める。
- (3) 児童のよさを認め，励まし合い，望ましい人間関係を醸成する中で，豊かな心の育成を図る。
- (4) 落ち着いた雰囲気の中で，児童が主体的・探究的に学び合う「対話的で深い学び」を展開し，学力の向上を図りながら「興味関心をもって学びを楽しむ子ども」を育てる。
- (5) 学校環境及び施設・設備の計画的な整備・活用を推進し，安全確保と教育効果の高揚に努める。

【旭地域学校園教育ビジョン】

「地域に愛される旭っ子の育成」～地域との豊かなかかわりを目指して～
育てたい児童生徒像

- ・ 自ら学び・考え・創造力のある児童生徒（学力向上）
- ・ やさしく互いに支え合う，心豊かな児童生徒（宮っ子心の教育）
- ・ 健康でたくましく，自他の生命を守れる児童生徒（元気アップ教育）
- ・ 自分の良さを生かし，夢を実現しようとする児童生徒（宮・未来キャリア教育）

4 教育課程編成の方針

- (1) 学校教育目標の具現化を図るため，学校経営方針や学校評価・学校課題・子供の姿や地域の現状等をふまえるとともに，前年度反省，地域の意見等を十分に考慮し社会に開かれた教育課程を編成する。
- (2) 子供が生き生きと取り組む特色ある学校づくりを目指した教育課程を編成する。
 - ① 全学年において複数の教職員で指導に当たる。
 - ② 異学年間交流や子供の主体的活動を推進し，自己有用感を高める。
 - ③ 体験活動や地域人材を活用した活動を意図的・計画的に実践する。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

(1) 学校運営

- ・教職員一人一人が主体性をもち、協力して学校運営に取り組む・・・「チーム城東」の結束
 - ・互いに学び合い切磋琢磨する職員集団づくりに努める。また、業務の改善、一人一人のライフワークバランスおよび勤務時間を意識した働き方改善に努める。(学校運営の適正化)
 - ・教職員行動規範の徹底による信頼の堅持と、一人一授業等を生かした授業力の向上に努める。(服務規律の遵守・授業力向上)
 - ・ポストコロナ時代に沿ったニーズに応えられるよう、創意・工夫ある教育課程を編成し、「特色ある教育活動」を推進する。(コロナ・リカバリープラン 教育課程の改善)
- 家庭・地域の教育力を積極的に生かした教育活動の充実、学校公開やHP・各種たより等による情報の発信、うつのみや学校マネジメントシステムによる学校運営の評価を生かし、「地域とともにある学校づくり」の推進に努める。(地域および学校園を生かした学校づくり)

(2) 学習指導

- ・課題設定・ふりかえりの工夫及び「対話的な学び」を通じた「分かる授業」による学力の向上
- ・落ち着いた雰囲気での学習時間づくり及び基礎的・基本的な内容の確実な定着と個別最適な学習支援

(3) 児童指導

- ・思いやりの心が育つ環境作り・望ましい生活習慣の育成
 - ・あいさつの励行、思いやりのある言葉遣い、「さん付けで呼び合う友達関係」を基本とし、全学級で継続して指導する。(温かい人間関係)
- 担任による時宜をとらえた教育相談の実施によって児童の今に寄り添うとともに、児童のよさを積極的に評価する。(自己有用感の高揚)
- ・「議論する道徳」を中核に自己の生き方について考えを深めるとともに、特別活動の充実を図り、協力し合うことを実感できるようにする。(議論する道徳・特別活動の充実)
 - ・一人一鉢活動や理科、道徳、総合的な学習の時間を通して、自然を大切にすることを育て、節電節水・エネルギー環境について考えようとする態度を育てる。(SDGS・宇都宮もったいない運動)

(4) 健康（体力・保健・食・安全）・メディアリテラシー・・・習慣化と資質・能力の育成

- ・食習慣や食事マナーの育成、規則正しい生活など、望ましい生活習慣の形成に努める。
- ・生活安全・交通安全の充実に努め、事件・事故や災害を回避する為の危険予測・回避能力、安全に関する判断力と行動力を身につけさせる。(学校安全の徹底と行動力の育成)
- ・情報モラルについて継続的に指導するとともに、1人1台端末の安全な利活用及びスマホ・ケータイ宮っ子ルールへの啓発を行う。(メディアリテラシー)
- ・楽しさと活動量に満ちた教科体育や各種検定を通して、積極的に運動に取り組む児童を育てる。(体力向上の推進)

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標(小・中学校共通, 地域学校園共通を含む)

※「主な具体的な取組の方向性」には, A拡充 B継続 C縮小・廃止, を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は, 文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価									
1- (1) 確かな学力を育む教育の推進	<p>A1 児童は, 他者と協力したり, 必要な情報を集めたりして考えるなど, 主体的に学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は, 学習課題を解決するために, 友達と話し合ったり, 必要な情報を集めたりしながら, じっくり考え, 進んで学習に取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上</p>	<p>① 考えを書く時間を確保し, 児童が自信をもって自分の考えを発表できるよう支援し, 他者との協働に必要な「聞く・話す」学習の徹底を図る。</p> <p>② 身に付けた知識や情報の活用を図る時間と場を設定し, 進んで表現させる。</p> <p>③ 「対話的な学び」を意識して, 話し合いの形態を工夫するなど, 自分の思いを進んで表現することができる授業づくりに努める。</p> <p>④ デジタル機器やAI型個別学習ドリルの効果的な活用について検討を進め, 児童が主体的に学習に取り組めるよう努める。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1058 405 1457 483"> <tr> <td></td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>※</td> <td>86.6%</td> </tr> </table> <p>・児童の肯定的回答は目標値の85%を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き, 城東っ子の学び「城東スタイル」の元, ICTを活用し, 分かる授業, 学ぶ楽しさを実感できる授業を展開し, 学習課題確認, 振り返りの充実を図る。 教材, 教具, 課題設定や導入の工夫などを教職員間で共有する。 授業中の「聞く・話す」学習を充実させる。考えを書く時間を確保し, 児童が自信をもって自分の考えを発表できるよう支援する。 家庭学習については, 宿題の量や内容の精選をして, 自主学習に積極的に取り組ませるなどの指導・支援を推進する。 		R4	R5	児童	※	86.6%			
	R4	R5											
児童	※	86.6%											
1- (2) 豊かな心を育む教育の推進	<p>A2 児童は, 思いやりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は, 誰に対しても, 思いやりの心をもって優しく接している。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上</p>	<p>① 児童会活動で「なかよしプロジェクト」を実施したり, 体験活動と関連を図った道徳科の授業を実施したりして, 生命や人権を尊重する心や, 人を思いやる心などを涵養する。</p> <p>② 縦割り班活動や縦割り班清掃を実施し, 低学年から高学年まで幅広く関わり合い, 良好な上下関係を構築する。</p> <p>③ 「さん付け」や温かみのある言葉づかいについて, 日々の生活の中で定着できるよう継続的に指導する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1058 1155 1457 1279"> <tr> <td></td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>※</td> <td>84.5%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>95.7%</td> <td>82.6%</td> </tr> </table> <p>・児童, 教職員共に肯定的回答が, 目標値の85%を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童会活動で「なかよしプロジェクト」を実施したことは, 人権教育において効果的であった。今後も引き続き実施していく。 縦割り班清掃を実施することにより, 低学年から高学年まで幅広く関わり合い, 良好な上下関係が構築できているため, 今後も実施していく。 「さん付け」や温かみのある言葉づかいについて, 日々の生活の中で定着できるよう継続的に指導する。 		R4	R5	児童	※	84.5%	教職員	95.7%	82.6%
	R4	R5											
児童	※	84.5%											
教職員	95.7%	82.6%											

	<p>A 3 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 「児童は、夢や目標に向かって、あきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上</p>	<p>① 学校行事や各教科の授業、各種検定等において、児童が目標をもって取り組む機会を設け、振り返りを重視するとともに、目標の達成に向けて努力している児童を称賛する。</p> <p>② 作品掲示物やノート等に温かいコメントを書き、認め励ます指導の充実を図る。</p> <p>③ キャリアパスポートを有効に活用し、道徳や日常の指導においても、児童を認め、励ます指導に努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1058 152 1457 275"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 4</th> <th>R 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>88.7%</td> <td>85.0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100.0%</td> <td>91.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・児童・教職員ともに肯定的回答は、目標値の85%を上回った。しかし、昨年度に比べて、児童・教職員の肯定的回答は下がった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や各種検定等に目標をもって取り組ませ、振り返りを重視するとともに、児童の頑張りを称賛する。 ・作品掲示物やノート等に温かいコメントを書き、認め励ます指導の充実を図る。 ・キャリアパスポートを有効に活用し、道徳や日常の指導においても、児童を認め、励ます指導を心掛ける。 		R 4	R 5	児童	88.7%	85.0%	教職員	100.0%	91.3%			
	R 4	R 5													
児童	88.7%	85.0%													
教職員	100.0%	91.3%													
<p>1- (3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進</p>	<p>A 4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上 ⇒保護者 85%以上</p>	<p>① 児童が自分の健康に気を付けて自ら健康を管理できるよう、感染症予防対策も含め、学級活動、体育、学校行事と関連を図った保健指導や日常の生活指導を行う。</p> <p>② 学校給食と各教科等との関連を図った指導のもと、栄養のバランスのとれた食事や望ましい食習慣の形成を図る。</p> <p>③ 児童の「危険予測・回避能力」を高めるため、日常指導における安全指導を充実させるとともに、「交通安全教室」「避難訓練」「安全マップづくり」等を計画的に実施し、安全に対する意識を高めていく。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1058 828 1457 987"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 4</th> <th>R 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>※</td> <td>88.5%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100.0%</td> <td>78.3%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>92.9%</td> <td>90.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・児童、保護者の肯定的回答は目標値の85%以上を上回った。しかし、教職員は昨年度と比べても大きく下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康的な生活を送ることができるようにするために、来年度も引き続き感染症予防対策について指導を継続していく。 ・感染症対策をしつつ、学校給食や各教科等の関連を図った食に関する指導を行い、児童の食習慣の形成を推進する。 ・引き続き、日常の安全指導を行うとともに、避難訓練、安全教室等を計画的に実施し、安全に対する意識を高めていく。 		R 4	R 5	児童	※	88.5%	教職員	100.0%	78.3%	保護者	92.9%	90.4%
	R 4	R 5													
児童	※	88.5%													
教職員	100.0%	78.3%													
保護者	92.9%	90.4%													

1-(4)
将来への希望と協働する力を育む教育の推進

A5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。

【数値指標】

全体アンケート

「児童は、互いの良さを生かしながら、進んで意見を発表したり、協力したりして、集団の課題を解決している。」

における肯定的回答

⇒児童 85%以上

⇒教職員 85%以上

① キャリアパスポートを活用し、特別活動や学級活動の活性化を図り、児童が自らのよさを自覚して夢や目標の実現に向けて取り組もうとする意欲を育む。

② 家庭や地域との連携による体験的活動を実施し、他者との協働のよさを実感できる場面を設定する。

【達成状況】

	R4	R5
児童	※	82.7%
教職員	※	95.7%

・児童の肯定的回答は、目標値である85%を下回った。教職員の肯定的回答は、目標値を大きく上回った。

B

【次年度の方針】

- ・児童の自己肯定感を高められるよう、なりたい自分の姿を具体的に示させ、それに近づけるように支援を行う。
- ・キャリア教育の充実のため、外部講師を招き、将来への展望を開く機会を設ける。
- ・キャリアパスポートを活用し、特別活動や学級活動の活性化を図る。

2-(1)
グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進

A6 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。

【数値指標】

全体アンケート

「児童は、外国語活動(英語)の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」

における肯定的回答

⇒児童 85%以上

⇒教職員 85%以上

① ALTとの事前打合せを充実させ、担任やALTと児童、児童同士が楽しくコミュニケーションを図れるような授業を計画し、実践する。

② 教職員の校内研修において、授業力向上に向けた授業実践の紹介、情報共有等を一層充実させ、授業に生かしていく。

③ 日常生活の中で、ALTと児童が交流できる場を設け、積極的にコミュニケーションが図れるよう、環境を整える。

【達成状況】

	R4	R5
児童	※	77.2%
教職員	95.7%	91.3%

・児童の肯定的回答は目標値の85%を下回った。

B

【次年度の方針】

- ・ALTとの事前打合せを充実させ、担任やALTと児童、児童同士が楽しくコミュニケーションを図れるような授業を計画し、実践していく。
- ・教職員の校内研修において、授業力向上に向けた授業実践の紹介、情報共有等を一層充実させ、授業に生かしていく。
- ・日常生活の中で、ALTと児童が交流できる場を設け、コミュニケーションが図れるようにする。

A7 児童は、宇都宮の良さを知っている。

【数値指標】

全体アンケート

「私は、宇都宮の良さを知っている。」

における肯定的回答

⇒児童 85%以上

① 生活科、社会科、総合的な学習の時間の授業において、視聴覚教材、市のホームページ、「宇都宮学」の副読本等を活用したり、校外学習で体験学習を行ったりして、児童が宇都宮の良さを実感できるような指導を実践する。

② 教師自身が宇都宮市の歴史、文化、伝統産業、特産物等について理解を深めるよう努める。

③ 児童が宇都宮の良さを実感できるような掲示物・展示物の工夫を図る。

【達成状況】

	R4	R5
児童	86.6%	83.2%

・児童の肯定的回答は目標値の85%を下回った。

B

【次年度の方針】

- ・生活科、社会科、総合的な学習の時間の授業において、視聴覚教材、市のホームページ、「宇都宮学」の副読本等を活用したり、校外学習で体験学習を行ったりして、宇都宮の良さを実感させる。
- ・全校集会などで宇都宮について扱い、宇都宮のよさについて知る機会を増やす。

2- (2)
情報社会と
科学技術の
進展に対応
した教育の
推進

A 8 児童は、デジタル機器
や図書等を学習に活用し
ている。
【数値指標】
全体アンケート
「児童は、パソコンや図書等
を学習に活用している。」
における肯定的回答
⇒児童 85%以上
⇒教職員 85%以上

- ① 児童がデジタル機器を協働的な
学びに活用できるようにしてい
く。
- ② 学年に応じた、デジタル機器や図
書の利用ができるよう指導を工
夫する。
- ③ 家庭でのデジタル機器の使用に
ついて、学びのツールとして適切
に活用できるよう家庭と連携を
図る。
- ④ 読み聞かせボランティアによる
「わくわくブック隊」や、委員会
による読み聞かせ活動を、テレビ
放送で行うなどの工夫をし、読書
指導を継続していく。

B

【達成状況】

	R 4	R 5
児童	※	85.0%
教職員	100.0%	100.0%

・児童、教職員共に肯定的回答が、目標
値の85%を上回った。

【次年度の方針】

- ・一人一台端末などのICT機器を協働
的な学びに活用できるようにしてい
く。
- ・学年に応じた、一人一台端末や図書
の利用ができるよう指導を工夫する。
- ・家庭でのタブレット端末の使用につ
いて、学びのツールとして適切に活
用できるよう家庭と連携を図る。
- ・読み聞かせボランティアによる「わ
くわくブック隊」や、委員会による
読み聞かせ活動を、テレビ放送で
行うなどの工夫をし、読書指導を
継続していく。

2- (3)
持続可能な
社会の実現
に向けた担
い手を育む
教育の推進

A 9 児童は、「持続可能な社
会」について、関心をも
っている。
【数値指標】
全体アンケート
「児童は、「持続可能な社会」
について、関心をもっている。」
における肯定的回答
⇒児童 85%以上
⇒教職員 85%以上

- ① 「持続可能な社会」について、関
心をもたせるために、身近な給食
指導において食について考えさせ
、健康や食料の大切さに対する
意識を高める。
- ② 児童会活動、城東タイム、各教科
の学習等を通して、学校全体で環
境問題への関心を高め、環境と調
和しながら生きる意識や態度の
育成を推進する。
- ③ 図書室のSDGsの関連書籍等を活
用し、児童の関心を高め、知識を
深める。

B

【達成状況】

	R 4	R 5
児童	※	83.2%
教職員	87.0%	78.3%

・児童の肯定的回答は目標値よりも下回
った。教職員の肯定的回答も目標値に
届かず、昨年度より大きく下回った。

【次年度の方針】

- ・「持続可能な社会」について、関心をも
たせるために、身近な給食指導にお
いて食について考えさせ、健康や食料
の大切さに対する意識を高める。
- ・児童会活動、城東タイム、総合的な学
習、各教科の学習等を通して、学校全
体で環境問題への関心を高め、環境と
調和しながら生きる意識や態度の育
成を推進する。
- ・図書室のSDGsの関連書籍等を活用し
、児童、教職員共に関心を高め、知
識を深める。

<p>3- (1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進</p>	<p>A10 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」における肯定的回答 ⇒教職員 90%以上</p>	<p>① 毎週1回放課後の打ち合わせ時に児童指導連絡会や特別支援委員会を行い、支援を必要とする児童について全教職員で支援の方針等について共通理解を図り、一人一人のニーズを踏まえた支援を組織的に行う。</p> <p>② 特別な支援の必要な児童については、個別の支援計画を作成し、それに基づいた指導を行うとともに、家庭との連絡も密に行っていく。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1054 159 1453 241"> <tr> <td></td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>※</td> <td>95.7%</td> </tr> </table> <p>・目標値を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も、毎週1回放課後の打ち合わせ時に児童指導連絡会や特別支援委員会を行い、支援を必要とする児童について全教職員で支援の方針等について共通理解を図っていく。 必要に応じて、ケース会議を開き、組織的対応や家庭への連絡を徹底していく。 特別な支援の必要な児童については、個別の支援計画を作成し、それに基づいた指導をする。また家庭との連絡も密に行っていく。 		R4	R5	教職員	※	95.7%			
	R4	R5										
教職員	※	95.7%										
<p>3- (2) いじめ・不登校対策の充実</p>	<p>A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒保護者 85%以上</p>	<p>① 学級活動や道徳、全校集会等で、いじめが許されない行為であることを日常的に指導し、思いやりや助け合い、規範意識等の心を育て、人権感覚の向上や望ましい人間関係を築く力の育成を図る。</p> <p>② いじめアンケートを定期的に実施し、教育相談等に活用し、児童の実態を日常的に把握・いじめの早期発見、防止に努めると共に、保護者との連携を深めていく。</p> <p>③ 児童の様子について職員間で情報共有や共通理解を図り、組織的に対応する。</p> <p>④ 児童の様子について職員間で情報共有や共通理解を図り、組織的に対応する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1054 770 1453 891"> <tr> <td></td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>94.4%</td> <td>96.3%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>75.5%</td> <td>84.2%</td> </tr> </table> <p>・児童の肯定的回答は目標値の85%を上回ったが、保護者は下回った。しかし、去年度と比べると、保護者の肯定的割合は大きく上がった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、学級活動や道徳、集会等で、いじめが許されない行為であることを日常的に指導する。また、いじめゼロ月間では標語を募集し、児童に周知していくことでいじめ予防に努めていく。 いじめアンケートを定期的に実施し、教育相談等に活用し、児童の実態を日常的に把握・いじめの早期発見、防止に努めると共に、保護者との連携を深めていく。 児童の様子について職員間で情報共有や共通理解を図り、組織的に対応する。 		R4	R5	児童	94.4%	96.3%	保護者	75.5%	84.2%
	R4	R5										
児童	94.4%	96.3%										
保護者	75.5%	84.2%										
	<p>A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、一人一人を大切にし、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒保護者 85%以上</p>	<p>① 児童の自己肯定感を高められるよう、児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに、担任も認め励ます指導に努め、学級活動等で、お互いの良さや頑張り等の跡を可視化し、累積していく。</p> <p>② 「積極的に毎日一声かけてかわり続け」を合言葉に、児童の困りに寄り添い、支援する。</p> <p>③ 教育相談、アンケート、Q-U調査等の結果を活用し、不適応傾向のある児童の早期発見と不登校の兆候や傾向の児童について、組織的に対応し、チームとして複数で関わったり、ケース会議で対応を検討したりして、校内全体の情報共有を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1054 1576 1453 1697"> <tr> <td></td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>93.8%</td> <td>95.8%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>86.6%</td> <td>91.1%</td> </tr> </table> <p>・児童、保護者の肯定的回答は目標値の85%を上回った。また、昨年度より上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「積極的に毎日一声かけてかわり続け」を意識し、児童の困りに寄り添い、支援するようにする。 学校としての組織的な対応として、チームとして複数で関わったり、ケース会議で対応を検討したり、情報を職員間で共有したりしていく。 		R4	R5	児童	93.8%	95.8%	保護者	86.6%	91.1%
	R4	R5										
児童	93.8%	95.8%										
保護者	86.6%	91.1%										

<p>3-(3) 外国人児童生徒等への 適応支援の 充実</p>	<p>A13 学校は、一人一人が大 切にされ、活気があり、 明るくいいきとした雰 囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、児童の悩みに寄 り添い、相談に乗ったり、問 題の解決に努めたりして、児 童が明るくいいきと学校瀬 克を送れるようにしている。」 における肯定的回答 ⇒教職員 90%以上</p>	<p>① 学校行事や学級活動、児童会活動 等において、児童が主体的に活躍 したり、活動を振り返ってよさを 実感したりできる場や、教師が認 め励ます場を設け、自己有用感や 自己肯定感を高めていく。</p> <p>② 外国人児童や多様な教育的ニー ズをもつ児童について全教職員 で共通理解を行い、組織的な支援 を行っていく。</p> <p>③ 日常生活や授業の場において、 児童相互が国籍や文化、個性の違 いを認め合い尊重し合いながら 生活できるような指導をしてい く。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1054 159 1453 237"> <tr> <td></td> <td>R 4</td> <td>R 5</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>※</td> <td>100%</td> </tr> </table> <p>・目標値を上回り、100%の肯定的回答だ った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・引き続き、学校行事や学級活動、児童 会活動等において、児童が主体的に活 躍したり、活動を振り返ってよさを 実感したりできる場や、教師が認め 励ます場を設け、自己有用感や自己 肯定感を高めていく。</p>		R 4	R 5	教職員	※	100%						
	R 4	R 5													
教職員	※	100%													
<p>3-(4) 多様な教育 的ニーズへ の対応の強 化</p>	<p>A14 教職員は、分かる授業 や児童にきめ細かな指導 を行い、学力向上を図っ ている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「先生方の授業は分かりやす く、一人一人に丁寧に教えて くれる。」 における肯定的回答 ⇒児童 90%以上 ⇒教職員 90%以上 ⇒保護者 90%以上</p>	<p>① 課題設定・ふりかえりの工夫、「対 話的な学び」の場の設定、「城東ス タイル」を活用した授業の充実、 デジタル機器の活用や体験学習 等、授業の工夫・改善に努め、分 かる授業を展開する。</p> <p>② 落ち着いた雰囲気学習時間づく り及び基礎的・基本的な内容の確 実な定着と個別最適な学習支援に 努める。</p> <p>③ 朝のパワーアップタイムの時間 の確保と内容の充実を図る。</p> <p>④ 個人懇談等において、個々の児童 の学習の成果や課題について、保 護者と共通理解を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1054 629 1453 786"> <tr> <td></td> <td>R 4</td> <td>R 5</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>95.7%</td> <td>97.4%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>83.1%</td> <td>91.4%</td> </tr> </table> <p>・児童、保護者とも肯定的回答は目標 値の90%を上回った。教職員の 肯定的回答は100%であった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・引き続き、学校課題の城東っ子の 学び「城東スタイル」を活用した 授業の充実、1人1台端末の活用 や体験学習等の授業の工夫に努 め、日常の各教科指導に生かす とともに、分かる授業を展開す る。</p> <p>・朝のパワーアップタイムの時間 の確保と内容の充実を図る。</p> <p>・保護者や地域の方に、日々の 授業や教職員の指導の様子を オープンスクールや授業参観等 で公開する。</p> <p>・個人懇談等において、個々の 児童の学習の成果や課題につ いて、保護者と共通理解を図 っていく。</p>		R 4	R 5	児童	95.7%	97.4%	教職員	100%	100%	保護者	83.1%	91.4%
	R 4	R 5													
児童	95.7%	97.4%													
教職員	100%	100%													
保護者	83.1%	91.4%													
<p>4-(2) チーム力の 向上</p>	<p>A15 学校に関わる職員全員 がチームとなり、協力し て業務に取り組んでい る。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校に関わる教職員がチ ームとなり、協力して業務に 取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒教職員 90%以上</p>	<p>① A L T・少人数指導担当・図書 館司書との事前打合せや情報交 換の場を設けることで、より 効果的な授業や学習法を目指 していく。</p> <p>② 多様な専門性を有する学校 スタッフとの情報交換やコミュ ニケーションを充実させ、児 童理解を深め、個に応じた 効果的な指導方法を模索して いく。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1054 1480 1453 1559"> <tr> <td></td> <td>R 4</td> <td>R 5</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100%</td> <td>95.7%</td> </tr> </table> <p>・教職員の肯定的回答は目標 値の90%を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・引き続き、多様な専門性を 有する学校スタッフとの情報 交換やコミュニケーションを 充実させ、児童理解を深め るようにしていく。</p> <p>・個別最適化を目指し、引き 続き個に応じた効果的な指導 方法を模索し、実践してい く。</p>		R 4	R 5	教職員	100%	95.7%						
	R 4	R 5													
教職員	100%	95.7%													

<p>4-(3) 学校における働き方改革の推進</p>	<p>A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上</p>	<p>① 全職員が学校経営への参画意識をもち、チームとして課題に取り組み、業務の効率化、充実を図る。 ② 教職員が相互に業務内容を理解し合い、それぞれの強みを生かした連携を図れるよう日々情報交換を密にしていく。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1054 159 1453 237"> <tr> <td></td> <td>R 4</td> <td>R 5</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>※</td> <td>87.0%</td> </tr> </table> <p>・教職員の肯定的回答は目標値の85%を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、全職員が学校経営への参画意識をもち、チームとして課題に取り組み、業務の効率化、充実を図る。 教職員が相互に業務内容を理解し合い、それぞれの強みを生かした連携を図れるよう日々情報交換を密にしていく。 		R 4	R 5	教職員	※	87.0%			
	R 4	R 5										
教職員	※	87.0%										
<p>5-(1) 全市的な学校運営・教育活動の充実</p>	<p>A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 における肯定的回答 ⇒教職員 80%以上 ⇒保護者 80%以上</p>	<p>① 乗り入れ授業や中学校訪問、中学生のボランティア受け入れ、あいさつ運動等の連携事業を充実させる。 ② 小小間・小中間の「読書ゆうびん」事業を、継続して行う。 ③ 学校だよりやHP等を通して、小中一貫の取組を、保護者へ情報発信する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1054 645 1453 763"> <tr> <td></td> <td>R 4</td> <td>R 5</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>※</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>73.6%</td> <td>79.1%</td> </tr> </table> <p>・保護者の肯定的回答は、目標値を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学校からの乗り入れ授業や児童の中学校訪問、中学生のボランティア受け入れ、あいさつ運動等の連携事業を充実させていく。 学校だよりやHP等を通して、小中一貫の取組を、保護者へ情報発信する。 		R 4	R 5	教職員	※	100%	保護者	73.6%	79.1%
	R 4	R 5										
教職員	※	100%										
保護者	73.6%	79.1%										
<p>5-(2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進 5-(3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進</p>	<p>A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 全体アンケート 学校は、家庭・地域・企業と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 における肯定的回答 ⇒保護者 85%以上 ⇒地域住民 85%以上</p>	<p>① 家庭・地域の教育力を積極的に生かした教育活動の充実を図り、「地域とともにある学校づくり」の推進に努める。 ② 保護者や地域の方々、関係機関と連携し、生活科や総合的な学習の時間、学校行事等を実施していく。 ③ 活動の様子をホームページや各種便りを活用し、保護者及び地域へ積極的に発信していく。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1054 1137 1453 1256"> <tr> <td></td> <td>R 4</td> <td>R 5</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>77.0%</td> <td>89.0%</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>※</td> <td>85.7%</td> </tr> </table> <p>・保護者、地域住民共に肯定的回答が、目標値である85%を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> P T A事務局や地域コーディネーターを通して、保護者や地域の方々、関係機関と連携し、生活科や家庭科、総合的な学習の時間、学校行事等を実施していく。 活動の様子をHPや各種便りを活用し、保護者及び地域へ積極的に発信していく。 		R 4	R 5	保護者	77.0%	89.0%	地域住民	※	85.7%
	R 4	R 5										
保護者	77.0%	89.0%										
地域住民	※	85.7%										

6-(1)
安全で快適な
学校施設
整備の推進

A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。
【数値指標】
全体アンケート
「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」
における肯定的回答
⇒教職員 85%以上
⇒保護者 85%以上

- ① 毎月、各教室、特別教室、廊下、体育館等を、チェック項目に基づく安全点検を実施し、危険個所の改善や修繕に努めるとともに、ホームページ等を通して実施状況を保護者に周知する。
- ② 実際場面で生きて働く訓練となるように自己判断力及び危険回避能力を高める指導を学級活動等で行っていく。
- ③ 気温・湿度・気流状況を定期的に確認し、適切な保健指導や管理に努める。(新型コロナウイルス感染症の対策も含む。)

【達成状況】

	R 4	R 5
教職員	100.0%	100.0%
保護者	90.5%	87.6%

・教職員、保護者とも目標値の85%を上回った。

【次年度の方針】

- ・引き続き、安全点検を実施し、危険個所の改善や修繕に努めるとともに、ホームページ、さくら連絡網等を通して実施状況を保護者に周知する。
- ・避難訓練等の実施方法を工夫するとともに、自己判断力及び危険回避能力を高める指導を学校行事や学級活動等で実践する。
- ・気温・湿度・気流状況を定期的に確認し、適切な保健指導や管理に努める。(感染症の対策も含む。)

6-(2)
学校のデ
ジタル化
推進

A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業(授業準備も含む)を行うための準備ができている。
【数値指標】
全体アンケート
「教職員は、授業(授業準備を含む)や業務にデジタルを積極的に活用している。」
における肯定的回答
⇒教職員 90%以上

- ① ITC支援員と連携を図り、デジタル機器を積極的に活用していく。
- ② 学年に応じたデジタル機器の効果的な活用ができるよう、環境を整備する。

【達成状況】

	R 4	R 5
教職員	※	95.7%

・教職員の肯定的回答は目標値の90%を上回った。

【次年度の方針】

- ・ITC支援員と連携を図り、一人一台端末などのICT機器を積極的に活用していく。
- ・ICTを活用した教材、教具、課題設定や導入の工夫などを教職員間で共有する。

小・中
学校、地
域学校
共通、本
校の特色
・課題等

B1 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。
【数値指標】
全体アンケート
「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」
における肯定的回答
⇒児童 85%以上
⇒地域住民 85%以上

- ① 「明るいあいさつ」を合言葉に、全校朝会等で、全体指導を行うとともに、「時と場に応じたあいさつ」「先手のあいさつ」の意識化を目指す。
- ② 教職員による率先したあいさつや、代表委員による「あいさつ運動」を継続し、あいさつの徹底を図る。
* 旭学校園共通目標
- ③ あいさつについて、日常的な指導に加え、「あいさつ運動」の強調月間を設け集中的に指導したりするなどして、徹底を図る。
- ④ 学校だより等で家庭や地域でもあいさつを奨励するなどの協力依頼を行う。

【達成状況】

	R 4	R 5
児童	※	88.7%
地域住民	100.0%	57.1%

・児童の肯定的回答は、目標値の85%を上回ったが、地域住民の肯定的回答は、大きく下回った。

【次年度の方針】

- ・「先に、目を見て、大きな声で」を合言葉に、全校朝会やあいさつ運動等で、全体指導を行うとともに、「時と場に応じたあいさつ」の意識化を目指す。
- ・強調週間を設け、地域や中学校と協力して「あいさつ運動」を実施するなど、あいさつを習慣化するための手立てを工夫する。
- ・学校だより等で家庭や地域でもあいさつを奨励するなどの協力依頼を行う。

<p>B2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童はきまりやマナーを守って、生活している」における肯定的回答 ⇒児童 90%以上 ⇒教職員 90%以上 ⇒保護者 90%以上</p>	<p>① 「城東っ子の約束」を基に、全職員が同一歩調で児童指導に当たるようにする。</p> <p>② 週末に、生活目標に対するふりかえりを行い、次週に生かせるようにする。</p> <p>③ 学級活動や道徳、全校集会等で、日常的に指導し、人権感覚の向上を図るとともに思いやりのある行動を奨励していく。</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1058 152 1457 315"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>※</td> <td>87.1%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100.0%</td> <td>73.9%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>94.0%</td> <td>92.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・保護者の肯定的回答は、目標値の90%を上回ったが、児童、教職員は下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰りの会等で、児童に一日の振り返りをさせることで、規範意識を向上していく。 ・週末に、生活目標に対する評価及び反省をさせるとともに、次週に反省を生かせるようにする。 		R4	R5	児童	※	87.1%	教職員	100.0%	73.9%	保護者	94.0%	92.6%
	R4	R5													
児童	※	87.1%													
教職員	100.0%	73.9%													
保護者	94.0%	92.6%													
<p>B3 自分の健康や安全に関心を持ち、健康的な生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「自分の健康や安全に関心を持ち、健康的な生活をしている。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上 ⇒保護者 85%以上</p>	<p>① 「健康票」「元気っ子体力テスト結果」等の記録票を活用し、健康への意識の向上を図る。</p> <p>② 防災教育や環境問題を取り上げた行事を計画し、体験活動を取り入れながら、保護者、地域と一体となった取組を推進する。</p> <p>③ 手洗いの徹底等、自分の健康管理への関心を高める指導を継続して行う。</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1058 728 1457 891"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>94.9%</td> <td>91.9%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100.0%</td> <td>91.3%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>92.4%</td> <td>89.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・児童、教職員の肯定的回答は、目標値85%を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き「健康票」「元気っ子体力テスト結果」等の記録票を活用し、健康への意識の向上を図る。 ・学校行事や各教科の学習を通して防災教育に取り組んだり、環境問題を児童会活動などで取り上げ、実践したりする。 ・手洗いの徹底等、自分の健康管理への関心を高める指導を継続して行う。 		R4	R5	児童	94.9%	91.9%	教職員	100.0%	91.3%	保護者	92.4%	89.7%
	R4	R5													
児童	94.9%	91.9%													
教職員	100.0%	91.3%													
保護者	92.4%	89.7%													
<p>B4 児童は、分かったことや気付いたことを、相手に分かりやすく伝えている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、分かったことや気付いたことを、相手に分かりやすく伝えている」における肯定的回答 ⇒児童 80%以上 ⇒教職員 80%以上</p>	<p>① 学年の発達段階に応じた「話すこと」「書くこと」の資質・能力を高める指導を充実させるために、「自分の考えや意見を書いて整理し、まとめるための時間の確保」「根拠を明確にしながら伝え合える場の設定」を推進する。</p> <p>② デジタル機器を活用した発表の工夫や協働的な学習の推進など、表現力を高めるための指導を充実させる。</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1058 1368 1457 1503"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>79.6%</td> <td>80.6%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100.0%</td> <td>95.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・児童と教職員の肯定的回答は目標値の80%を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年の発達段階に応じた「話すこと」「書くこと」の資質・能力を高める指導を充実させる。 ・自分の考えや意見を書いて整理し、まとめるための時間を確保したり、根拠を明確にしながら伝え合う場の設定をしたりする。 ・一人一台端末を有効に活用した発表の工夫を図る。 		R4	R5	児童	79.6%	80.6%	教職員	100.0%	95.7%			
	R4	R5													
児童	79.6%	80.6%													
教職員	100.0%	95.7%													

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【学校運営】（教育計画）

1 教職員が主体性をもち、協力して取り組む学校組織の構築

- ・教職員の特性を生かした学年構成や校務分掌等により、組織的な学校運営及び同僚性を発揮した明るく活気のある学校づくりができ、学校のチーム力向上につながった。
- ・金曜日を短縮日課にして、月・水・金の放課後の時間を教職員の研修や会議、情報交換や教材研究の時間等として活用したことにより、教職員の資質の向上や児童に寄り添った支援につながった。

2 地域・家庭・学校が連携協力した開かれた学校づくりの推進

- ・PTAや子ども会、交通指導員、スクールガードボランティア等による立哨指導により、安全確保や安全指導を継続的に実施できており、連携協力が図られている。
- ・地域協議会による花壇整備や環境ボランティアによる掲示物作成や作品展示、全校児童による「一人一鉢運動」の実施、校舎内外の危険箇所等の修繕、施設・設備等の計画的な整備・修繕など、学校環境整備に努め、それぞれ成果があった。

【児童指導】

1 児童のよさが生き、進んで明るく元気なあいさつができる児童の育成

- 交通指導員や地域の方からは、「あいさつ」について褒められる機会が増え、休み時間の廊下等でも「こんにちは」の声が目立ち、響くなど、全体的に向上している。
- ・代表委員会で話し合われたあいさつのキャッチフレーズ「先に、目を見て、大きな声で」も児童の間に定着してきた。しかし、まだ個別にはあいさつの声が小さい（できない）児童もおり、今後も、相手に伝わるあいさつの仕方等の指導や、教職員による率先したあいさつに努めていきたい。

2 ルールやマナーを守り、互いを思いやり尊重し合って行動できる児童の育成

- ・学級活動や帰りの会での「友達のよさ」の発表や「宮っ子心の教育表彰」による称賛などを継続してきた。今後とも、ルールやマナー遵守の指導を充実させるとともに、児童一人一人のよさを認め合える温かな雰囲気構築をしていきたい。
- ・いじめが許されない行為であることを学級活動や学校行事等を通して日常的に指導することにより、望ましい人間関係構築につなげることができた。今後とも、いじめは「あるもの」という認識のもと、発見や報告があった場合に、全校体制で迅速かつ丁寧にその解消に向け対処していきたい。

【学習指導】

1 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着

- ・本年度も、教科の特性や児童の理解の程度に応じた学習形態や指導法の工夫に努めるとともに、パワーアップタイム（朝の学習時間）等で基礎的・基本的な学力の確実な定着を図ってきた。また、習熟度別学習、チームティーチング、かがやきルームの活用等、個に応じた支援、指導、評価をし、児童の学力向上に努めてきた。その成果として、とちぎっ子学習状況調査や市定着度調査において、概ね、県や市と同等の結果を収めることができた。
- 家庭学習を奨励し、宿題だけでなく自主学習に積極的に取り組むよう、指導や支援を継続してきた。今年度は、一人一台端末を活用した学習を取り入れ、学習内容の定着を図るとともに関心意欲の喚起を図ってきた。

2 学ぶ楽しさを味わい、学びを深める授業の構築

- ・教職員の研修を重ね、授業実践を通して教師の指導力の向上を図ってきた。学びを深めるための学習スタイルを「城東スタイル」として児童に示し、継続して学習指導に努めてきた。また、児童が意欲をもって取り組める学習課題を設定したり、自分で考える時間や学び合う場を確保したりして学びを深める授業を目指し、実践した。
- 探究的・課題解決的な学習、体験的な学習を通して、児童が自主的・自発的に学び、成就感や達成感を得ることで学ぶ楽しさを実感することができる児童の育成に努めてきた。

【健康・安全】

1 健康的な生活習慣を身に付け、健康安全を目指す城東っ子の育成

- ・新型コロナウイルス感染症対策がひと段落したことによって手洗いの徹底など、学校全体の健康的な生活に対する意識が低下した。昨年度より数値が低下しているものは、児童の意識を高め、衛生的な生活習慣を定着させるために、来年度も継続して習慣化を図りたい。
- ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、食育や安全教育等、行事の実施方法について変更があったものの、学校栄養士や養護教諭を中心とした全職員で、計画的に実施することができた。今後も、状況に合わせてなが

ら、指導・啓発の充実を図っていきたい。

- ・児童の安全な環境に対して、教職員と保護者、地域住民の意識に差が見られた。スクールガードボランティアや地域の方の見守りはあるが、安全についての関心や意欲が徐々に低くなっている。登下校の安全に関わる指導や、避難訓練、日常の様々な安全指導を継続して行うとともに、今後は安全に配慮した環境づくりに関する取組をホームページに掲載するなどして、保護者や地域への周知を図りたい。

7 学校関係者評価

- ・児童のあいさつに係る地域住民の肯定的回答率が低かったことは、学校外で知らない人に声を掛けない（掛けられても応じない）指導が徹底していることと、地域住民が学校内に入る機会がコロナ禍前よりも大きく減少していることが一因として考えられる。学校を地域に開く機会を増やし、学校内ではあいさつの状況が向上している様子を見てもらえるようにしていく。また、民生委員や地域の各団体が協力分担し、小学校前であいさつ運動を展開する方向を検討・計画していく。
- ・ルール（特に登下校の仕方）については、地域としても安全の見守りについて広く募るなど検討していく。学校でも、一列に並んで歩くことや道路の横断の仕方などについて、日々の指導を地道に継続していく。
- ・学校園の取組については、外部からは見えにくい部分もあるので、どんな活動をしているかについて、広報活動を充実させる。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・A 2「豊かな心を育む教育の推進」では、児童・教職員ともに目標値に届かなかった。今後も引き続き「さん付け」や「言葉遣い」の地道な指導を続け、温かな雰囲気を作っていくよう学校を上げて心掛けたい。
- ・A 4「健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進」では、児童・保護者は目標値を上回ったが教職員は大きく下回った。令和5年度より「安全教育」の研究を開始し、教職員はより高い目標に向けた意識をもち評価に臨んでいると考えられる。研究を重ねるに当たり、児童の実態を置き去りにせず、適切な目標を立て、効果的な手立てを講じていきたい。
- A 5「将来への希望と協働する力を育む教育の推進」で、教職員は目標値を上回ったもの大きく上回ったものの児童は下回り、児童と教職員との間にギャップが認められた。外部講師やキャリアパスポートの活用を推進し、児童が将来の展望を開く機会を設けるとともに、協力することのよさや達成感を味わえるような活動を意図的に仕組み、児童の成長やがんばりを認め称賛していきたい。
- ・A 9「持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進」では、児童・教職員ともに目標値を下回った。特に5・6年生の肯定的回答率が低かったことから、4年生の総合的な学習の時間に学んだSDGsに関する内容が委員会活動などを通して直接つながっていることを意識できるようにし、学びが活かされていることを実感できるよう工夫する。
- ・A 11、12「いじめ・不登校対策の充実」では、児童・保護者とも昨年比を上回った。A 11（いじめ）の保護者は目標値には届かなかったものの、昨年比は大きく上回っていることから、方向性は合っていると考えられる。引き続き、日常的な指導の他、学級活動や道徳、集会等の活用や定期的ないじめアンケート、教育相談週間の実施など、取組を地道に継続していく。
- ・A 16「学校における働き方改革の推進」で、教職員は目標値を上回った。業務内容の効率化と精選、充実を図り、引き続きチームとして課題に取り組む。
- A 17「全市的な学校運営・教育活動の充実」で、保護者は目標値に届かなかったものの、昨年比は上回った。小中一貫の取組を更に充実させるとともに、学校だよりや学校ホームページなどを通して広く知らせ、積極的な情報発信に努める。
- ・B 1「児童の時と場に応じたあいさつ」で、児童は目標値を上回ったが、地域住民は大きく下回った。学校を地域に開く機会を増やし、学校内ではあいさつの状況が向上している様子を見てもらえるようにしていくとともに、民生委員や地域の各団体の協力も得てあいさつ運動を展開する方向を計画していく。